

建通新聞

神奈川

2025年(令和7年)
5月15日木曜日

神測協

技術講習会を開催

A Iへの
対応を迅速に

神奈川県測量設計業協会(千葉二会長)は、12日に横浜市内で2025年度第1回技術講習会を開催した。国土交通省などから講師を招き、ドローンに関する航空法や標高成果の改定などについて説明を受けた。当日は過去最大となる約180人が出席した。

千葉会長「写真」は



「今後はICTにもAIの活用が広がっていくと想定されるため、いち早く対応していかなければならない。講習会の内容を糧にして取り組んでほしい」とあいさつした。

講習会ではゼンリンエンジニア戦略部の小野一輝氏とローカスブルーの宮内

聡氏がAIを活用した3次元点群データ処理ソフトウェアを紹介。国土交通省航空局の勝間裕章課長補佐がUAVによる測量・調査に関する航空法、国土地理院関東地方測量部の石山信郎部長が標高成果の改定、地理空間情報の二次利用促進に関するガイドラインについて説明した。

この他、賛助会員によるセミナーでは3次元設計データの作成手法、遠隔測量などについて学んだ。